

第25回写真「1\_WALL」グランプリ受賞者個展

# 岡崎ひなた展

Photography



1\_WALL

Guardian  
Garden

RECRUIT

# 空は種を 万里を走る。

今まさに世界中で一過性を含む事象が起り続けている。

その時々には神様の気配を感じ、写真というツールを用いてそれらに触れる。

現在、変化する不変をテーマに、自身の故郷である

和歌山県の過疎地域にフォーカスをあて、制作を行っている。

潮と緑の香りは在るべき形と在って欲しい形を風に乗せ私の所に連れてくる。

土地から命を貰いそれらを分け合い資本にも変換する、この複合的な営み。

獣、植物、人、魚、海、山……万物は何を見て何処に行くのか。

時代性を踏まえ形を変えなければ淘汰される現状と守らなければいけない在り方。

この様に今大切なものが少しずつ変容し姿を変えつつある。

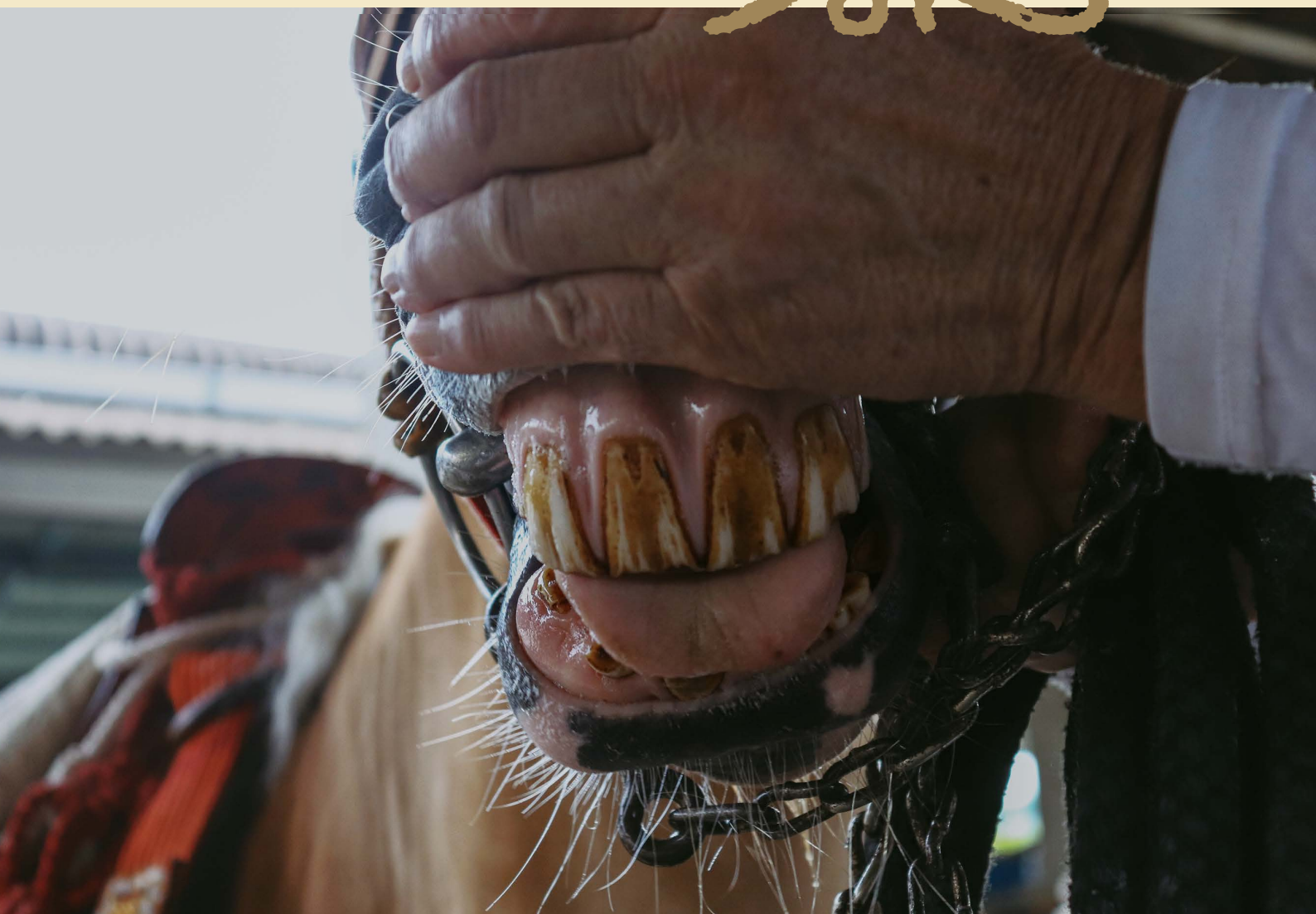
変化と普遍の狭間から、私はイメージと事実を写真を用い声明する。

2023

5.23(火) - 6.24(土)

主催・会場 ガーディアン・ガーデン

11:00-19:00 日曜休館 入場無料





第25回写真「1\_WALL」グランプリ受賞者個展

# 岡崎ひなた展

2009年から続いてきた「1\_WALL」展の最後のグランプリを飾ることになったのは、20歳で最年少受賞者となった岡崎ひなたである。古くからの風習や祭祀が残る和歌山県の山村から写真を学ぶために都市部へと出たことが岡崎が住み慣れた故郷を見直す契機となったという。そのレンズが向けられるのは、山や川、海と結びついた共同体における日々の営みであり、神仏や祖先との紐帯を維持しながら生きる人々の姿である。一瞬を捉えたスナップ写真の中に、その場所に積層してきた過去の時間も二重写しとなって幻視できるかのようだ。リニアな時間軸が揺らぎ、ふと別の時間が侵入してくるような瞬間を巧みに捉えているとも言えるかもしれない。一つのイメージをそこにはない別のイメージに連結させる技量は、老練なスナップシューターのようにも見えるが、「1\_WALL」が求めてきた「これからの人」でもある。

小原真史(キュレーター)

## 岡崎ひなた Hinata Okazaki

2002年生まれ。  
日本写真映像専門学校  
写真コミュニケーション学科写真表現コース卒業  
写真塾アトリエリッケンバック所属

- 2019年 第26回全国高等学校写真選手権大会 優勝
- 2021-22年 「T3 Student Project」ファイナリスト
- 2022年 Les Rencontres d'Arles アルル国際写真祭  
同時開催イベントARTAOTA ARLES 個展
- 2022年 第25回写真「1\_WALL」グランプリ

## トークイベント

津田直(写真家)× 岡崎ひなた

2023年 6月9日(金) 19:10-20:40

オンライン配信  
参加無料・要予約

詳細はウェブサイトで <http://rcc.recruit.co.jp/gg/>

第25回写真「1\_WALL」展 2022年8月23日(火)-9月17日(土)



展示作品：  
「水面にカゲロウ」

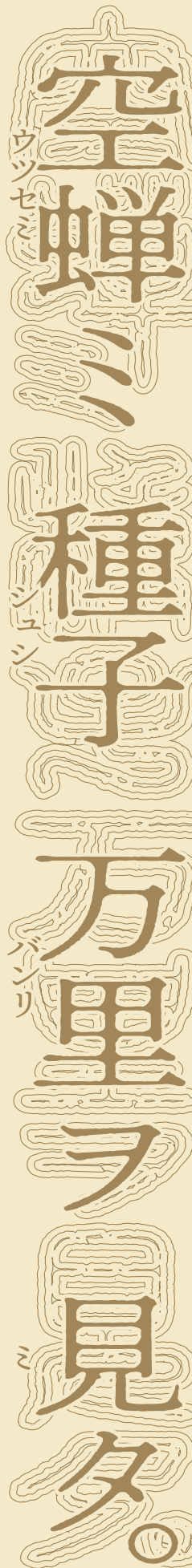
審査員：  
小原真史(キュレーター)  
須山悠里(デザイナー)  
高橋朗(PGIギャラリーディレクター)  
津田直(写真家)  
野口里佳(写真家) ※五十音順・敬称略

## ガーディアン・ガーデン

〒104-8227 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビルB1F  
WEB | <http://rcc.recruit.co.jp/gg> twitter | @guardiangarden  
facebook | @guardiangarden.tokyo Instagram | guardian\_garden



「  
獣、植物、人、魚、海、山……万物は何を見て何処に行くのか。  
」



JR新橋駅 銀座口 ○	有楽町線	アジックス○	ガードアン・ガーデン ウエスト●	外環通り	地下鉄銀座駅 C2出口 ○	有楽町 マリオン ○
○ 地下鉄 新橋駅 5番出口	● リクルートGINZAビル		電通ビル○		○ 東急プラザ	○
	クリエイションギャラリーG8					○

※ヒューリック銀座7丁目ビルの地下1階です。洋菓子舗ウエストの横の階段を降りてください